

第59回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 令和元年5月13日(月)18時30分から19時35分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 24人(欠席者4人)
出席委員 佐々木善信(会長)、小林義明(副会長)、浅野秀美、石坂卓也、小松日出雄、宍戸良雄、島田猛、鈴木和夫、武谷宏二、田中一枝、戸田朝子、長瀬輝夫、牧野隆男、増田雅則、矢田部正丈、山添登、山田攻
荻原正樹(副会長)、岩本宏樹、上野洋樹、岡田賢一郎、田口智英、星野巖雄、宮崎治
(名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別50音順)
事務局 興水勝、岩崎誠、古谷一祐、大堀和彦
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊

4 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 平成30年度ごみ処理実績について
 - (2) 平成30年度環境測定結果について
 - (3) 「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について
 - (4) 平成31年度一般廃棄物処理計画について
 - (5) 令和元年度環境測定スケジュールについて
 - (6) 令和元年度ふじみ衛生組合地元協議会スケジュールについて
- 3 協議事項
 - (1) 令和元年度施設見学会について
 - (2) 安全衛生専門委員会委員の改選に伴う委員選出について
- 4 その他
 - (1) 次回日程
 - (2) その他
- 5 閉会

配布資料

- 【資料1】 平成30年度ごみ処理実績
- 【資料2】 平成30年度環境測定結果
- 【資料3】 「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について
- 【資料4】 平成31年度一般廃棄物処理計画
- 【資料5】 令和元年度環境測定スケジュール
- 【資料6】 令和元年度ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会・地元協議会スケジュール

【事務局】

こんばんは。皆様には、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、進めさせていただきます。

本日は、三鷹市の河村市長が、ふじみ衛生組合の管理者として地元協議会の皆様にご挨拶に参っております。開会に先立ちまして、河村管理者からご挨拶させていただきます。

【河村管理者】

皆さん、こんばんは。本日は59回目となりますふじみ衛生組合地元協議会にお忙しい中お集りいただきまして、心から感謝申し上げます。

私は、今ご紹介にあずかりましたように、ふじみ衛生組合の管理者を務めることになりました三鷹市長の河村孝でございます。実は4年前まで三鷹市の副市長をしていましたので、見知った方は大体3分の1ぐらいいらっしゃるようでございますが、私の個人的な心境としては、本当にふるさとに戻ってきた気持ちで一杯であります。

10年程前になるかと思いますが、地元協議会ができて様々な問題を議論しました。どのような施設をつくるのか、煙突はどの位の高さにするのか、水銀問題はどうするのだとか、問題の議論がたくさん噴出しまして、私は防戦一方で、一時は本当にどうなるのかと思いつつも、ただ、皆さんの真摯なご意見を伺っていると、この施設を建設するに当たり、両市の市民の皆さんの共通した不安をどう解消していくか、また、どういった良い施設をつくるかといった気持ちで一杯であったと思います。ですから、その議論がとても役に立ちました。私の個人的な感想で言えば、日本全国探しても、こんなに良い協定、あるいはマニュアルはないのではないかと思います。

当時が懐かしく感じられる今日この頃ではありますが、そこに戻ってご挨拶できる光栄を本当に心から感謝しています。当時、副市長参与として関わられた幸せをぜひこの場で発展させていきたいと思っています。

今後、この施設の花壇をどうするかとか、ふじみまつりをどうするかとか、そういうことも含めて話し合える環境になっているというのは、本当に素晴らしいことだと思っています。これからも様々なお忙しい時期が来ようかと思いますが、これからも皆さんの団結力と様々なご意見で、より良いものにしていきたいと思っていますので、ぜひご協力を今後ともよろしくお願いします。

会議の冒頭に当たっての挨拶ということですので、あまり長いと嫌われますから、この辺で失礼させていただきますが、本当に心のこもった良い施設だと思っています。午前中、長友市長とふじみ衛生組合の会議でお会いしましたが、私もその時、久々にここのクリーンプラザに足を運びまし

た。当時とあまり変わっていないですね。本当にきれいな施設のままで、視察も海外から殺到していると聞いています。まさに全国の、そして世界のモデルになるような施設になっているのではないかと考えています。

これからも厳しい目で、鋭いご意見をお願いいたしたいと考えています。ありがとうございました。（拍手）

【事務局】

ありがとうございました。河村管理者は、次の公務が控えておりますので、ここで退席させていただきます。

【事務局】

続きまして、4月1日付の人事異動に伴い委員の交代がございました。

三鷹市の大野生活環境部長が転出いたしまして、後任として生活田口環境部長が就任し、地元協議会委員に就任いたしました、田口委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

【田口委員】

ただ今、ご紹介いただきました田口と申します。前任の大野部長の後を引き継いで、一生懸命本当にこれから勉強し、皆さんにいろいろお知恵を拝借しながら、より良い施設にしていきたいと考えております。よろしくをお願いいたします。

【事務局】

田口委員、ありがとうございました。申し遅れましたが、事務局担当の篁が退職いたしまして、私、古谷が事務局を担当することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。人事については以上でございます。

続きまして、本日の会議資料でございます。事前にお配りしております資料1、平成30年度ごみ処理実績から資料6、令和元年度ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会・地元協議会スケジュールまでは、事前に配付させていただいております。また、資料2と表示したグラフ及び6月25日の施設見学会への申し込み用紙、見学会の質問事項の用紙、返信用封筒を席上に用意いたしております。なお、57回と58回のふじみ衛生組合地元協議会会議録につきましては、次の協議会でご報告させていただきます。

資料の漏れ等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今後の議事進行は会長をお願いいたします。

【会長】

それでは、ここから私が進行させていただきます。皆さん、よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は、住民の委員の方が17名、組合の委員が7名ということで、トータル24名となりますので、成立いたします。

それでは、1番目です。平成30年度ごみの処理実績についてに入りたいと思います。A委員、お願いいたします。

【A委員】

それでは、平成30年度のクリーンプラザふじみにおけるごみ処理実績に

つきましてご報告いたします。1ページの資料1をお願いいたします。

上のグラフをごらんください。平成30年度4月から3月までの可燃ごみの搬入実績でございます。上のグラフの右下に記載のとおり、三鷹市の可燃ごみの搬入量は2万8,550.34トンとなり、前年度比で307.22トン、約1.1%の増、調布市の可燃ごみの搬入量は3万3,879.15トンとなり、前年度比で219.94トン、約0.7%の増となりました。また、リサイクルセンターで発生した可燃性残渣のクリーンプラザふじみへの搬入量は7,372.10トンとなり、前年度比で227.32トン、約3.2%の増となりました。次に、小金井市からの搬入量は3,207.43トンとなりました。なお、小金井市からの搬入は平成29年度4月から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行いました。

以上の結果、平成30年度4月から3月までの可燃ごみの搬入量は7万3,009.02トンとなり、前年度比で891.76トン、約1.2%の増となり、ほぼ前年度並みの搬入量となりました。なお、小金井市分の搬入量を除きますと、754.48トン、約1.1%の増となり、小金井市分を除く可燃ごみの搬入量におきましても、ほぼ前年度並みの搬入量となりました。

次に、下のグラフをごらんください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び発電量・売電量についてご報告いたします。下のグラフの右下に記載のとおり、焼却灰の搬出量は6,251.56トンとなり、前年度比で275.86トンの増、飛灰の搬出量は2,147.13トンとなり、前年度比で199.67トンの増、鉄分の搬出量は206.33トンとなり、前年度比で12.65トンの増となりました。

以上の結果、クリーンプラザふじみの搬出実績につきましても、前年度比でやや増加していますが、ここ数年の搬出実績を年度単位で見ても、ほぼ横ばいで推移していると言えます。

なお、焼却量は7万4,460.61トンとなり、前年度比で3,761.20トンの増となりました。また、発電量は4万978.53メガワットアワーとなり、前年度比で3,749.37メガワットアワーの増、売電量は3万230.55メガワットアワーとなり、前年度比で2,800.06メガワットアワーの増となりました。発電量につきましても、前年度比で約10.1%の増、売電量につきましても前年度比で約10.2%の増となりましたが、これは、炉の稼働日数が昨年度より14日多かったことによります。

なお、下のグラフにおきまして、焼却量並びに発電量及び売電量のグラフが下落しておりますところは、2炉あります焼却炉の法定点検により、2炉ないしは1炉を停止したことによるものでございます。

続きまして、2ページをお願いいたします。平成30年度4月から3月までのリサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績につきましてご報告いたします。一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみの搬出実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬出量は合計で8,947.13トンとなり、前年度比で20.07トン、約0.2%の減となりました。

た。

真ん中のグラフが調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で9,207.44トンとなり、前年度比で228.38トン、約2.5%の増となりました。

一番下のグラフは、両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で1万8,154.57トンとなり、前年度比で208.31トン、約1.2%の増となりました。

以上のとおり、平成30年度4月から3月までにおける両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、ほぼ前年並みの搬入量となりました。

個々の搬入量の実績のうち、主なものといたしましては、三鷹市のペットボトルの搬入量が前年度比で37.05トン、約5.3%の増となりましたが、昨年の夏の気候が影響しているものと思われます。また、調布市におきましては、三鷹市と同様、ペットボトルの搬入量が前年度比で25.68トン、約2.8%の増となり、粗大ごみの搬入量が83.01トン、約26.8%の増となりました。

続きまして、3ページをお願いいたします。平成30年度4月から3月までのリサイクルセンターにおける有償・無償の資源物搬出並びに逆有償の資源物及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。

上のグラフが、有償・無償の資源物の搬出状況でございますが、上のグラフの右に記載のとおり、資源物の搬出量の合計は9,502.18トンとなり、前年度比で29.35トン、約0.3%の減となりました。

以上のとおり、有償・無償の資源物搬出につきましても、ほぼ前年度並みの搬出となりました。

次に、下のグラフをごらんください。逆有償の資源物及び熱回収搬出についてご報告いたします。下のグラフの右に記載のとおり、搬出量の合計は7,513.29トンとなり、前年度比で232.56トン、約3.2%の増となりました。

以上の結果、平成30年度4月から3月までの資源物等の総搬出量は、右下に記載のとおり、1万7,015.47トンとなり、前年度比で203.21トン、約1.2%の増となりました。

平成30年度4月から3月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。ただいまの説明でご質問がありましたら、お願いいたします。質問はよろしいですか。

それでは、次に移ります。報告事項2番目、環境測定結果について、B委員、お願いします。

【 B 委 員 】

それでは、4ページをおあけくださいますでしょうか。前回の環境測定結果のご報告ですが、こちらは前々回の2月12日にご報告させていただいております。それ以降の報告をさせていただきます。

まず、一番上の欄ですが、こちらは1月以降の報告ということで、先ほども説明がありましたが、2月に法定点検で、2号炉を休炉したというところでございます。

次に排ガス測定でございます。こちらは、2月の欄に書かれているものをご報告するということになります。まず、ばいじんにつきましては、 $0.001\text{ g/m}^3\text{N}$ 未満、それから、硫黄酸化物につきましては 1.4 ppm が最高値でございました。塩化水素につきましては 0.8 ppm が最高値でございました。窒素酸化物につきましては 44 ppm が最高値でございました。鉛につきましては $0.004\text{ mg/m}^3\text{N}$ 未満、カドミウムにつきましては $0.04\text{ mg/m}^3\text{N}$ 未満、亜鉛につきましても $0.004\text{ mg/m}^3\text{N}$ 未満、水銀につきましては $0.00005\text{ mg/m}^3\text{N}$ が最高値でございました。一酸化炭素につきましては 1 ppm でございました。ダイオキシン類につきましては今回のご報告する数値はございません。

次に、1月の騒音・振動・臭気・排水の測定でございます。こちらは、時間帯によって異なっておりまして、東西南北で一定時間測定した結果でございます。まず、騒音につきましては、午前8時から午後8時までが 56 デシベル、東で測定したものが高かったところでございます。それから、午前6時から午前8時までが東と南で 54 デシベルという結果でございました。それから、午後8時から午後11時までが 54 デシベル、南で測定したものが高かったところでございます。午後11時から午前6時までの時間帯につきましては、東と南で 50 デシベルという結果でございました。

続きまして、振動でございますが、午前8時から午後8時までが 38 デシベルで、南側で測定したものが高かったところでございます。午後8時から午前8時までが 36 デシベルで、南側で測定したものが高かったところでございます。臭気指数につきましては、ご報告できる数字は今のところ出ておりません。それから、排水につきましては、2月に水質基準以下と出てございます。

続きまして、周辺大気の測定でございますけれども、別紙のとおりとなっておりますが、こちらはまだ数値の整理ができていないために、今回はご報告できる数値がございません。申し訳ございませんでした。

続きまして、放射能に関する測定でございますけれども、こちらは2月以降の結果のご報告になります。まず、焼却灰につきましては不検出、飛灰につきましては2月の 39 Bq/kg が最高値でございました。排ガス1号炉、2号炉とも不検出でございました。排水についても不検出でございました。

それから、一番下の囲みでございますけれども、空間放射線量率の測定でございますが、地上1メートルと地上5センチで計測しておりますが、こちらはいずれも $0.08\mu\text{Sv/h}$ が最高値でございました。

私からは以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。ご質問等がありましたら手を挙げてください、お願いします。

ないようでしたら、次、報告事項3番目の対応マニュアルについて、B委員、お願いいたします。

【 B 委員 】

それでは7ページをおあげくださいますでしょうか。こちらは、平成30年度の「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表でございまして、毎年この時期に平成25年に作成されました処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルに基づきまして、その結果をこちらでご報告しながら、またホームページにもアップするというものでございます。

2つ公表する事項がございまして、1つは緊急事象です。

例えば、水銀が出たことによって休炉せざるを得なかったといったこととございまして、平成30年度はこのような事象は幸いにも発生しませんでした。

それから、皆様方、市民の方から要望があった場合に、それはどのような要望内容であるのかを公表するということになっておりまして、こちらについても実績はございませんでした。

私からは以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。今のご説明に質問等がありましたら、お願いいたします。C委員、どうぞ。

【 C 委員 】

質問ですが、緊急事象は29年度1件で、今年度はないということですが、水銀のコントロールがより強化されておりますが、そういうものの効果が出ているというようなことがあるかどうかということ、それが1つ、それから、要望等がないということで安心はするのですが、騒音が限度ぎりぎりですね。それで、注意をしておかないといけないと思いながら、周りの騒音なのかなと、そういうことに関して暗騒音とでも言うのでしょうか、そのようなことを少し調べておいたほうが良いのではないかと、つまり、何か問題が生じたときに、ふじみ衛生組合が原因か否かということについて、例えば全部止まっているときはどうであるのかといったこともバックデータとして持っておいたほうがよろしいのではないかと感じています。

以上です。

【 会 長 】

J副会長、お願いします。

【 J副会長 】

まず、1点目でございます。緊急事象がなかったということで、具体的には水銀が発生しなかったという点でのご質問でございます。これにつきましては、確かに新しい水銀除去システムを入れたという効果もあります。また、三鷹市、調布市と連携して広くPRを行い、先日ご報告しましたとおり、水銀回収キャンペーンの実施、それから、抜き打ちでごみの検査をするというような、いろいろな要素が重なって、このような結果になった

のではないかと推測しているところでございます。

2点目の騒音の問題でございます。今、C委員ご指摘のとおり、実はふじみ衛生組合の南側には東八道路、幅員30メートルの道路が通っており、交通騒音がかなりを占めているということは、私どもも認識しております。環境影響調査を行ったときには、暗騒音も含めて調査しております。ただ、最近暗騒音については騒音測定していませんので、今後、機会がございましたら、暗騒音を含めて調査を行い、その差をしっかりと私どもとしても認識し、また、地元協議会の皆様にもご報告したいと思っております。

【 会 長 】

ありがとうございます。C委員、よろしいですか。

それでは、次の項目の廃棄物処理計画について、D委員お願いします。

【 D 委 員 】

それでは、私から、平成31年度の一般廃棄物処理計画について報告させていただきます。まず、8ページの資料4をごらんいただけますでしょうか。このページと右側のページにつきましては、三鷹市の一般廃棄物処理計画の概要でございます。詳細は後ほどごらんいただきまして、1枚おめくりいただきまして、10ページでございます。こちらにつきましても、調布市の一般廃棄物処理計画の概要でございます。詳細は後でごらんいただければと思います。

もう一枚おめくりいただきまして、右側の13ページをごらんいただけますでしょうか。ここからが平成31年度のふじみ衛生組合の一般廃棄物処理計画の概要でございます。三鷹市と調布市が策定いたしました計画のもとに、主に組合でのごみ処理を計画したものでございます。

次に、1枚おめくりいただきまして、14ページをごらんいただけますでしょうか。こちらは、組合におけるごみの発生抑制などに関する方策でございますが、分別排出の徹底を図ることはもちろんのこと、この地元協議会や安全衛生専門委員会との連携を重点項目とするとともに、社会科見学を中心に、引き続き環境学習を推進して参りたいと考えております。

最後に、右側の15ページをお願いいたします。こちらは参考ということで、三鷹市、調布市の収集量と組合の処理量をまとめたものでございます。まず、三鷹市の収集量でございますが、平成31年度・令和元年度になりましますけれども、合計4万7,552トンで、全体的に収集量はほぼ横ばいという計画になっております。

それから、中段の調布市の収集量でございますが、平成31年度は6万399トンを集める予定で、三鷹市と同様、全体的にほぼ横ばいという計画となっております。

そのほかに、記載はございませんが、平成31年度・令和元年度も、組合では小金井市の可燃ごみ約2,600トンを上限として受け入れを予定しております。

一番下の表がふじみ衛生組合の処理量でございます。クリーンプラザふじみでは、小金井市の可燃ごみを合わせまして7万2,030トン焼却する計画となっております。三鷹市、調布市の可燃ごみ収集量は、合わせて800トン程度増加する見込みでございますけれども、小金井市の可燃ごみ搬入量が昨年度平成30年度より900トン程度減少することから、この表の一番上のクリーンプラザふじみでの可燃ごみ処理量は、100トン程度減少する見込みでございます。また、不燃ごみ、資源物を処理いたしますリサイクルセンターにおきましては、昨年度とほぼ横ばいの1万7,813トン処理する計画となっております。

一般廃棄物処理計画につきまして、説明は以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。質問のある方お願いします。E委員、どうぞ。

【 E 委 員 】

これは、テレビ関係で聞いた不正確な情報ですけど、最近プラスチックは、海外の国で処理されるというようなものが出ており、15ページのプラスチックはかなり多量なのですが、これは現在、全部国内で賄っているのでしょうか。その点だけお願いします。

以上です。

【 会 長 】

J副会長、お願いします。

【 J副会長 】

ふじみ衛生組合のプラスチックにつきましては、容器包装リサイクル法という法律に基づき、国内の再生化事業者におきまして全量処理されておりますので、海外に輸出されているという状況にはございません。今、テレビで盛んに報道されていますのは、どちらかという事業系のプラスチックということで分別もできていない、汚れている、そういったものを以前は中国等に輸出していたのですが、中国が輸入を禁止するというようなことがございまして、今現在、その処理先について日本国内でも非常に問題になっているところでございます。

ただ、事業系のプラスチックにつきましては、区分でいいますと、産業廃棄物になりますので、産業廃棄物処理施設での処理が必要となりますが、日本の産業廃棄物処理施設の処理能力が急に増えるということにはございませんので、今、どこの産業廃棄物処理業者におきましても、処理能力が限界の状況でございまして、国としても、こういった事態を把握しておりますので、3Rの推進をさらに強化するということはもちろんですけども、今後、国においてもいろいろな対策が打たれるのではないかと期待しているところでございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。何か追加で質問がございましたら、よろしいですか。

それでは、報告事項5番目で、スケジュールをB委員、お願いします。

【 B 委 員 】

16ページをおあけくださいますでしょうか。令和元年度環境測定スケジュールでございますが、これも例年どおり環境測定を行いまして、皆様にご報告するという形をとらせていただきたいと思います。若干、昨年度環境影響評価の事後調査を行った関係で、時期的に少しずれているものもあるかと思いますが、回数等は全く同様なものとなっておりますので、昨年度同様、測定して皆様にお知らせするという形で進めさせていただきたいと思っております。

私からは以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。今の説明でご質問がございましたらお願いします。

ないようでしたら、報告事項6番目、衛生組合地元協議会スケジュールについて事務局より報告をお願いします。

【 事 務 局 】

19ページをごらんください。内容的には、前回3月にお示ししたものと同じものですが、元号を令和と入れさせてもらった点の変更点で、改めて年度当初ですので、ご報告として出させていただきました。具体的に日程が決まっているものとしては、6月25日に、川崎の王禅寺処理センターの見学予定、内容についてはこの後詳しく説明させていただきます。以上です。

【 会 長 】

ご説明に対する質問がありましたら、お願いいたします。

それでは、他になれば、3の協議事項に移らせていただきます。令和元年度施設見学について、事務局より説明をお願いいたします。

【 事 務 局 】

令和元年度施設見学会についてご説明いたします。まず、見学場所及び日程等について、事前にお知らせいたしましたとおり、令和元年度の施設見学会の見学先は、川崎市王禅寺処理センターを予定しております。実施日は6月25日火曜日で、集合場所は、こちらのクリーンプラザふじみ1階ロビーでございます。集合時間は午後0時15分とさせていただいております。昼食は済ませた上でご参加いただきたいと思います。出発時間は午後0時30分、帰着予定時間は午後5時を予定しております。交通手段は大型バスを利用する予定でございます。

続きまして、見学会の質問事項についてでございます。見学先の王禅寺処理センターから事前に質問事項を送ってほしいとの申し出がありました。この場ですぐ質問事項をいただくのも無理があると思っておりますので、席上に質問用紙をご用意いたしました。ご質問をいただける方は、質問用紙に書いてありますとおり、5月20日月曜日までにお手元の返信用封筒で事

事務局までお送りいただきしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

もう一点でございます。この施設見学会の公募参加者の募集でございます。昨年度の施設見学会では、委員の皆様にお知り合いをご紹介いただきましたが、参加者は職員を含めて23人でした。今年はもう少し多くの方にご参加いただけるよう、公募参加者を募集したいと考えております。募集は、『三調だより』に早目に募集記事を掲載して行いたいと考えております。公募参加者は10人程度を想定しております。また、委員の皆様の参加は、5月20日月曜日を締め切りとさせていただければと考えております。応募の用紙は事前にお送りしてありますので、本日お帰りの際に参加申し込みをお受けいたします。参加を決めている方は、ぜひ本日お手元の用紙でお申し込みいただけたらと思います。また、本日判断しかねる方は、先ほどの質問用紙と一緒に返信用封筒に入れて、5月20日月曜日までに事務局にご返送いただければありがたいと思います。

以上でございます。

【 会 長 】

ありがとうございます。それでは、今の項目について、ご意見やご質問などございましたらお願いします。F委員、どうぞ。

【 F 委 員 】

1点、よろしいですか。ここから何分ぐらいで到着し、帰り渋滞なども考えて、現地には何時間ぐらいいて、バスでその間は大体どれぐらい、もう少し細かくわかりますか。

【 事 務 局 】

道路事情にもよりますが、道が混んでいなければ片道約1時間で到着いたします。従いまして、現地で2時間程度は見学ができるのではないかと考えているところでございます。

【 会 長 】

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、他にご質問がなければ、2番目の安全衛生専門委員会の改選についてというところで、事務局より説明をお願いします。

【 事 務 局 】

特に資料は用意してございませんが、安全衛生専門委員会は4月22日に開催されました。そのときの報告事項につきましては、今日皆様にお示した報告事項と同一のものでございます。説明についても同一のもので、特に資料は今回追加するものはございませんでした。

その中で1点、専門委員会の委員長の藤吉委員長から、現在クリーンプラザふじみの運転状況は安定しているので、定例会の開催回数を年1回でも良いのではないかとといった話がありました。専門委員会そのものは地元協議会の要望で設置しているため、地元協議会にお諮りした上でお答えすることにしていきます。できれば本日協議いただければと思います。

もう一点、専門委員会の委員の任期が6月12日に満了となります。会長

と副会長は要綱の規定から自動的に継続しますが、現在、C委員とE委員にお願いしています。枠につきまして、改めて協議会からご推薦いただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

【 会 長 】

ありがとうございます。2点お話がありましたが、まず、1点目の専門委員会の開催回数の件ですが、ご意見はいかがでしょうか。現在は年2回の開催ですが、1回でも良いのではないかと藤吉委員長の提示もございまして、今日の会合に諮ってからのということで、その場は回答してございます。ご意見のある方はお願ひしたいと思っております。

特にご意見がないようでしたら、専門委員会の委員長提案のように年1回とするということで、よろしければ、そのように専門委員会に返すことにしたいと思っております。

もちろん、年1回になりましても、しっかりと監視していくという姿勢については変わりないと思っておりますので、よろしいでしょうか。E委員、お願ひします。

【 E 委 員 】

その場合、今、委員長が言われましたように、結構だと思っておりますが、何か問題点が発生したとき臨時に招集するといった添え書きが必要ではないかと感じております。以上です。

【 会 長 】

条件ですね。附帯事項をつけるということで、今そのように説明がございましたので、定例会の開催は年1回、緊急事態その他、必要に応じてそのときは緊急に開催するといったことがあり得るということでよろしいでしょうか。そのような形で委員長にも伝えたいと思っておりますし、専門委員会でそのように承知してもらうことにしたいと思っておりますが。

それでは、このような形で処理いたしますが、次に、専門委員会の委員の任期についてということで、長いことC委員とE委員には、それぞれ市民として幅広い知見を持っていただいて、今まで続けていただいております。安定的な稼働もできていることもございますが、ここは調布市と三鷹市とそれぞれ委員1人ずつ出しておりますので、それぞれの市の地元委員から異論がなければ、ご意見がないようでしたら、この場でそれぞれ決めていきたいと思っております。G委員どうぞ。

【 G 委 員 】

もし、お二人の方にご異存がなければ、この前も私は2人並んでいるんだと言いましたけれども、まだ並んでいらっしゃいますので、もう1年ぐらいFさんも頑張ってください、まだ見るからにお元気そうなので、ぜひお願ひしたいと思っておりますが。

【 会 長 】

三段跳びぐらいしたような感じですが、私の思いからすると。それで、調布はE委員に留任いただくということを私としても思っておりますが、

今、G委員からもそのような話がありましたので、三鷹のK副会長はいかがでしょうか。

【 K副会長 】

今、G委員から話がありまして、E委員にということで、三鷹としても異論はございませんので、お願いしたいと思います。

【 E委員 】

一言よろしいでしょうか。せっかくご推奨いただきまして、光栄に存じておりますが、正直言って、K副会長にお願いしたいのですが。私も年齢的には限界が来ておりまして、年も年ですから、もっとお若く精鋭的なはつらつとした方が適合するのではないかということで、一考していただけないかということでございます。以上です。

【 会長 】

三鷹の方の中でという、どなたか発言をいただければ、私の意見を後押ししていただければ。ぜひともEさんをお願いしたいと思います。多分皆さんそうですよね。G委員、お願いします。

【 G委員 】

調布からも、もう一年ぜひお二人で。いや、1年ということは多分ないと思いますが。

【 E委員 】

わかりました。未熟ながら、せっかく私にご指名いただきましたので、やらせていただきます。了解しました。

【 会長 】

ありがとうございます。無事次の委員も選出できたということで、ありがとうございます。

それでは、今、C委員とE委員にまたご一緒に専門委員会で活躍していただくということで、よろしくお願いいたします。

続きまして、最後ですが、4のその他の1の次回日程について決めたいと思います。事務局案をお願いします。

【 事務局 】

毎回四半期ごとのデータ報告の関係で、7月末に開催させていただいていますが、7月29日月曜日、または30日火曜日でいかがでしょうかのご提案で、そのとき前回の会議の中でお話がありましてとおり、三調会、懇親会を会議終了後に行うことが決まっておりますので、それだけ付言させていただきます。よろしくお願いいたします。

【 会長 】

それでは、次回、7月29日の月曜日、30日の火曜日、それぞれ諮りたいと思いますので、挙手をお願いします。29日の月曜日、ご都合の悪い方。どなたもおられないので、30日は聞く必要はないと思います。29日ということで手帳に書いておいていただければと思います。このときに三調会を行いたいと思いますが、そこで、三調会は今まで私が何回か司会をして、

それからE委員にも1回していただいているところなのですが、私が司会をするというわけにはいかないのです、ここは私の意見ですが、河村新管理者も復帰されたということもあって、多分、ご出席はこのときはしていただけるだろうと思いますので、このときの司会を、先ほど市長からもいろいろ思い出などの話がありました、私としては、G委員に昔話も含めてしていただくのが最適ではないかと、出発点だったので。そうすれば、河村市長も非常に呼吸が合うのではないかと思うのですが、いかがですか。

【 G 委員 】

そう言われると、何て言ってもいいかわからないので、仕方ないですね。
(「賛成」の声あり)

【 会 長 】

ありがとうございます。

それでは、予定の案件については終了しましたが、その他ということで、D委員からお願いします。

【 D 委員 】

私からは、前々回の地元協議会で市民交流委員を皆様にご了解いただきまして、G委員と、あと三鷹市側につきましてはIさんということで、ご了承はいただいていたのですが、あいにくI様がどうしても都合がつかないということになっております。

そのため、ぜひ三鷹市からも適任者の方を出していただきたいと思います。おりますけれども、Gさんにお心当たりの方がいらっしゃいますか。

【 G 委員 】

D委員からお話があったとおりでございまして、かわりに会長の連雀コミセンで委員として活躍されるIさんという方に代わっていただくようになりましたので、ご紹介いたします。よろしいでしょうか。Iさんです。囲碁の大変強い方です。

【 会 長 】

ありがとうございます。それでは、今度、G委員とIさんには、両市の交流担当者になっていただいて、ふじみまつりを側面的に更にいろいろ盛り上げていただくというような渉外をしていただくという形にしたいと思います。

一応、委嘱ということで書類をつくりましたので、後ほどG委員にお渡ししたいと考えておりますし、それから大島さんも準備いたします。

【 G 委員 】

明日、会うのですが、明日まとめてでも結構ですけれども。

【 会 長 】

わかりました。

それでは、一応、予定された内容については終わりますが、その他、ご意見等がありましたら、手を挙げてください。

ないようでしたら、少し時間は早いですが、事務局、お願いします。

【 事 務 局 】

それでは、本日はお忙しい中お集りいただきまして、誠にありがとうございました。お帰りの際に、先ほど申し上げましたように、施設見学会の参加について、参加の可否についてお出しただければありがたいと思います。今日お出しできない場合は、後日、返信用封筒に入れていただき、事務局にお送りいただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

【 会 長 】

ありがとうございました。

——了——